

Road  
to  
ZERO2010 NPT再検討会議  
生協代表団 現地報告 from NY5月1日(土)  
発行  
しずおか・やまなし  
神奈川の生協代表団

## 158人で現地結団式開催

～実効性のある合意に向けて全力で行動します～

現地時間5月1日11時より、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の代表52名と日本生協連の代表106名の合計158名による合同結団式がラディソンレキシントンホテルで開催されました。

日本被団協代表団団長の坪井直代表委員からは「前回の会議の結果には忸怩たる思いをさせられましたが、今年にはオバマ大統領のプラハ演説をはじめ、核兵器廃絶への歴史的な局面を迎え、大変期待をしています。しかしながら、今回の会議に日本の鳩山首相、岡田外務大臣が出席しないことは非常に残念で、憤りも感じております。私たち被爆者は健康面、年齢の問題などそれぞれが不安を抱えています、もうこれ以上自分たちと同じ思いをする人がないよう力の限り活動していきます。みんなでNPT再検討会議の成功に向けて頑張りましょう。」と力強い決意が述べられ、会場から大きな拍手が湧き起こりました。



挨拶する日本被団協 坪井代表委員



日本生協連団長 芳賀専務理事

日本生協連代表団団長の芳賀専務理事からは「今回のNPT再検討会議の動向に日本中が注目していることは前回の35名を大きく上回る106名の代表がNYに終結し、被団協の方々の活動支援として1000万円を超える額が寄せられたことが物語っています。実効性のある合意が取りまとめられるよう、被爆者の方とともに活動を進めていきましょう」との決意表明がありました。

日本生協連代表団団長の芳賀専務理事からは「今回のNPT再検討会議の動向に日本中が注目していることは前回の35名を大きく上回る106名の代表がNYに終結し、被団協の方々の活動支援として1000万円を超える額が寄せられたことが物語っています。実効性のある合意が取りまとめられるよう、被爆者の方とともに活動を進めていきましょう」との決意表明がありました。

## &lt;国際平和会議に出席しました&gt;

5月1日、「核兵器のない平和で公正・持続可能な世界のための国際会議」の「Global Hibakusha」のワークショップに出席しました。参加者は約300人で、6カ国6人の被爆者から報告がありました。「広島で5歳の時に被爆しました。現在韓国における被爆者は2700人。今後世界被爆者連合会を組織したい」(韓国代表)。「ネバダ州のウラン採掘場で被害が出ている」(アメリカ代表)。「1945年のプルトニウム製造開始から50万人の核実験被害者が出ている。国際原子力機関は核兵器製造でどのような被害がでるか検証してほしい」(ロシア代表)。

ディスカッションでは、核と人間は共存できない、核兵器は使用・製造・実験のいずれにおいても大きな被害をもたらす。多くの人が核兵器廃絶の意志を持ち行動することが必要と話されました。

(記：吉中由紀、妻鹿絢子)



今の私には自分の言葉で核兵器の恐怖を伝えることはできません。この活動を通じて自分の言葉で核兵器の恐怖を伝えたい。(伊藤菜月)

このニューヨークの地で行われる世界の中心の出来事をしっかり見て、感じて、考えて、帰ってから自分にできることを見つけられるように頑張ります(川西祐太)

組合員の平和の思いを伝え、届け、誰もが願う平和な世界の実現のため、この NPT 会議の成功を願わずにはられません(渋谷てる子)

被爆者の方の言葉をしっかり受け止め、次の子供たちへ語り継ぎます。LOVE AND PEACE (鈴木伸予)

いよいよ今日から始まる平和活動、一体何ができるのか見当もつかないが、精一杯やるだけだ。幸い時差ボケも解消し、体調も万全、Let's go (橋本隆夫)

被爆者の方の役に立てるように、また、自分の今後のためにも頑張ります(吉中郁美)

核兵器廃絶へのパルシステム神奈川ゆめコープ組合員の大きな思いを NY から世界中の人々へ伝えます(林 和則)

「核兵器廃絶」という組合員共通の願いを現実のものとするため今こそNYの地に響かせます。「ノーモアヒロシマ」「ノーモアナガサキ」(木下長義)

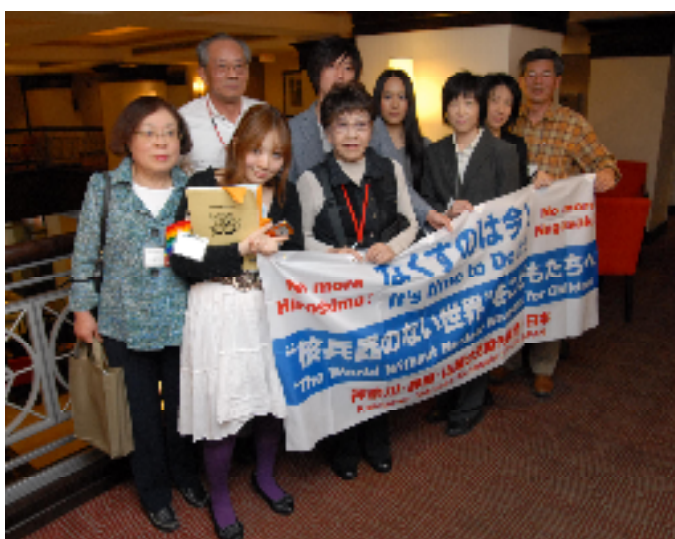
世界じゅうのおかあさんが誰一人として戦争で子供をなくすことがないように。それだけを願って歩きます。(木村美佳)

「平和」という言葉が当たり前のこととなるよう、この活動を全力で支援していきます(中村範子)

CANT 署名やカンパという形で託された多くの組合員の平和への願いを被爆者の方と一緒に伝えていきます(廣田夕子)

人が人として生きられるよう核兵器の残酷さを一人でも多くの人に伝えていきたいと思います(高田 徹)

2010年5月が歴史に残るものとなることを願って、行動に参加します(庭野文雄)



I can't just talk about change!

I have to actually do something! (Akari Kimura)

核兵器のない世界を実現させるこのチャンスを最大限に生かすため、被爆者の方々の証言を世界に広げる活動を元気にすすめていきます(桜井 薫)

世界から核兵器をなくす意志を持ち、他国の人と共有し、知識を得て、日本で多くの人に伝えたい(妻鹿絢子)

核兵器廃絶という課題への思いを他国の人と交わり、意見を深めることで報告に生かします(吉澤 哲)

今回の派遣で知り体験したことを多くの人に伝え平和を子ども達に残します(吉中由紀)

NYで被爆者の中村さんと田村さんと会い、被爆体験をしっかりと伝えなければと思いました(上田四郎)